



常陽中学校だより

No.2 H25.4.22

第二週目が始まりました。身体の疲れはありませんか？さて、各クラスでは新しい委員や教科係が決定し、クラスの目標も決めてスタートしています。そして、二十五日から三年生は志賀高原へ修学旅行です。実行委員の人はもちろんのこと、各自が自分の役割を果たし、是非、成功させて下さい。

努力は足し算、協力はかけ算

「努力は足し算、協力はかけ算」と言われています。毎日、コツコツと努力を積み重ねることの大切さはいうまでもありません。未来の自分の存在を「一」にとどめるか、「十」まで伸ばすのかは皆さんの努力次第です。

一方、集団での協力は、一人の持つ力を何倍にも増やすことができる「かけ算」です。魔法の力です。「足し算」よりも大きな成果が期待できます。ここに集団で学ぶ良さがあります。ただし、怖いこともあります。それは、「0」の存在です。ゼロはいくら足してもゼロにしかなりませんが、一回でもゼロを掛けると全てがゼロになってしまうからです。それまで積み上げてきた信頼がたった一度の失敗で全て失われてしまうことだってあります。

身近な例で言うと、合唱コンクールでクラスのほぼ全員が協力して歌おうと団結している時に、たった一人が「そんなもんやっても何にもならへん。しょうもない」と白けた態度や言葉を吐けば、みんなのやる気がいっぺんに無くなってしまいます。感動を与える合唱などつくりあげることにはできません。皆さんにはゼロの気持ちをつくらない、ゼロの行動をしないしてほしいのです。

「協力」の力でよいクラスをつくり上げて下さい。

学校ほどありがたい場所はない

週末になれば自由になる時間がたっぷりあり、あれもしたいこれもしたいと考える人も多いと思います。平日ではできないこと、例えば、部屋の片付けや掃除、買ったままで読んでいない本を読むなど色々やりたいと考えます。しかし、現実はどうでしょう？ ゆっくり寝坊したりして、自分が考えていた半分もできなかったなどということが多いのではないのでしょうか。

では、学校はどうでしょう？ ほとんどの人が遅刻しないよう大急ぎで朝食を食べ、家を出て八時二十五分までに校門を通ります。八時三十分には教室で机の前に座っていることでしょうか。決まった時間になれば教科の先生がやってきて授業が始まります。授業では声を出して教科書を読んだり、先生の説明を聞いたり、練習問題を解いたりします。自分一人では分からなかったところでも、先生が分かり易く説明してくれます。そして、五十分が過ぎれば十分間の休憩をはさみ次の授業です。いつも通りの日常ですがちょっと想像してみてください。もし、皆さんが自宅にいて、一人で教室と同じ事をしようとしたらできるでしょうか？ 八時五十分に机の前に座り、自分一人で五十分勉強し、十分間休憩、そしてまた五十分勉強する。簡単そうですが実はとても難しいことです。いったん休憩を取ればもうちょっと休んでいたいと思うでしょう。また、テレビの番組が気になったり何か食べたくなくなったりもするでしょう。郵便や宅配が来るかもしれません。気が散って勉強など続けていられないのではないのでしょうか？ 学校と同じことを一人ですることは不可能に近いことです。

それがいとも簡単にできてしまうのが学校です。大した苦労もせず、クラスの仲間と一緒になら集中して勉強することができます。テレビを見るわけにはいきませんし、お菓子も食べられません。特別に自分を追い込まなくても我慢ができます。

そうです、学校ほど皆さんにとってありがたい場所はありません。そう考えるとクラスや学年の雰囲気は大切ですね。一人ではできないことでもみんながいれば簡単に出来るしまうのです。

今一度、学校の良さを再認識して自分のクラスや学年を大切にしてください。